
第2期津万地区まちづくり計画



平成 29 年 3 月

生き生きTUMA未来予想会議

(第2期津万地区まちづくり計画策定委員会)

第2期津万地区まちづくり計画 目次

1. 計画の目的	p.1
2. 津万地区の現状	p.1
3. 計画策定の経緯	p.2
(1) 第1回委員会「津万地区のよいところ・わるいところ」		p.3
(2) 第2回委員会「これまでの計画における現状と課題の整理」		p.4
(3) 第3回委員会「こんな津万地区をつくりたい」		p.10
(4) 第4回委員会「課題解決のためのアイデアを積み上げよう①」		p.13
(5) 第5回委員会「課題解決のためのアイデアを積み上げよう②」		p.14
(6) 第6回委員会「課題解決のためのアイデアを絞り込もう」		p.16
(7) 第7回委員会「計画の素案検討」		p.17
(8) 第8回委員会「地域自治協議会について」		p.19
4. 第2期津万地区まちづくり計画	p.20
(1) みんなが仲良く、安心して暮らせるまちづくり		
(2) 生活が便利で誰もが住みやすいまちづくり		
(3) 地域愛にあふれるまちづくり		
(4) 地域の資源を活かした魅力あるまちづくり		
5. 生き生きTUMA未来予想会議委員名簿	p.24

1. 計画の目的

西脇市は、市民と行政が一緒担って、それぞれの責任と役割を分担しながら、共に考え、共に行動し、住みよいまちづくりを進めていく「市民主役のふるさと運営」を展開しています。

平成 25 年 4 月には、西脇市自治基本条例が施行され、まちづくりを行政が主導するのではなく、市民と行政がパートナーとして協働し進ながら、市民が主役になってまちづくりを進めるための基本ルールができあがりました。

津万地区では、自治基本条例に先立つ平成 17 年より、地域住民を主体とする津万地区まちづくり計画策定委員会を組織し「津万地区まちづくり計画 よっしゃ！やるで!! 生き活き TUMA」を策定し、平成 19 年 2 月には市長に計画書の提出を行っています。

そして、この計画の実現に向け、地区まちづくり組織「生き生き TUMA 協議会」を立ち上げ、これまで継続的にまちづくり活動を続けてきました。

このまちづくり活動により、津万地区では多くの成果を上げてきましたが、まちづくり計画の策定から 10 年を迎えるにあたり、計画策定当時とは地域を取りまく社会情勢にも変化が生じていることから、あらたな地区まちづくり計画を策定することとなりました。

2. 津万地区の現状

私たちの住む津万地区は、西脇市のほぼ中央部にあり「津万平野」を構成する一帯です。地区の南寄りに位置する八日山の南部は市街地が広がり、北部は西脇市内でも知られる農業地帯で、かつて「都麻乃郷」と呼ばれた田園地帯が広がっています。また地区東部には、一級河川加古川が南流しています。区域の東寄りを南北に国道 175 号が通っており、バイパスの計画も進行しています。

地区内には、あじさいで有名な西林寺、北播磨地域の特産品や自然を紹介する道の駅「北はりまエコミュージアム」があり、市外からも多くの方が訪れる、歴史と自然・文化に恵まれた地域です。

地区内では、平成 19 年に策定された津万地区まちづくり計画に基づき「よっしゃ！やるで!! 生き活き TUMA」を合言葉にまちづくり活動を続けてきました。平成 28 年 3 月には、西林寺のあじさい園前に、ふれあい喫茶「TUMA こいカフェ」をオープンし、地区住民によるコミュニティづくりなどが積極的に行われています。

一方、地区には課題もあります。近年、国道 175 号のバイパス建設が進み、病院・官公庁・商業施設も充実してきていますが、公共交通などの移動手段は不足しています。また、防災面の対策、高齢者や子どもの見守り、少子高齢化や人口減少によるコミュニティの希薄化など、解決すべき課題も見えてきています。

3. 計画策定の経緯

以上のような背景により、津万地区の今後の10年に向け、新たに顕在化してきた地域課題を見直し、これらの課題を解決していくために「津万地区まちづくり計画」を見直し、「第2期津万地区まちづくり計画」を策定することとしました。

計画策定にあたっては、地域住民で構成される地区まちづくり計画の策定委員会「活き生きTUMA未来予想会議」を組織し、下記のように「第2期津万地区まちづくり計画」について1年間の検討を行ってきました。

活き生きTUMA未来予想会議の経過

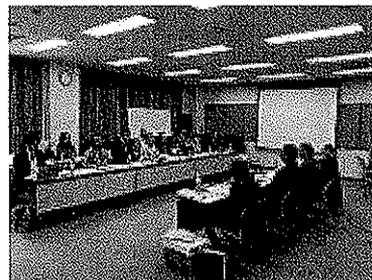
開催日	テーマ	会場
第1回 平成28年 6月22日	津万地区を知ろう	大野隣保館
第2回 平成28年 7月20日	前計画を建設的に評価	上野会館
第3回 平成28年 8月18日	こんな津万地区をつくりたい	大野隣保館
第4回 平成28年 9月21日	まちづくりの進め方 課題解決のためのアイデアの積み上げ	上野会館
第5回 平成28年 10月19日	まちづくりの進め方 課題解決のためのアイデアの積み上げ	大野隣保館
第6回 平成28年 11月14日	課題解決のためのアイデアの絞り込み	上野会館
第7回 平成28年 12月13日	計画の素案検討	大野隣保館
平成29年 1月14日	先進地視察「いくの地域自治協議会」	朝来市生野町
第8回 平成29年 2月14日	計画の概要 地域自治協議会について	上野会館
平成29年 3月12日	先行イベント「春こいフェスティバル」	西林寺 あじさい園周辺



第1回委員会の様子



第5回委員会の様子



先進地視察の様子

(1)第1回委員会で出た意見「津万地区のよいところ・わるいところ」のまとめ

計画の検討に先立ち、地区の資源と課題を明らかにするため、委員会のメンバー全員で、津万地区の「よいところ・悪いところ」をできるだけ多くあげる作業を行いました。皆さんが出した意見は下表の通りで、津万地区には数多くの魅力・資源がある一方、解決すべき課題もかなり多いことが分かります。

		よい	わるい
人間関係	人	いい人が多い 結構人がいい・人が温かい お年寄りに優しい 思い出がある 思い出 (子供の頃)	少子高齢化 年寄りの一人住まいが多い 若い人がすくない (子供も) 子供が少ない (子供会) 個人を重視 個々が非常に強くなってきている・少し都市化し自己的な人が増えた 人の悪口を言う所・人・方言 保守的 引っ込み思案が多い・皆さん嫌われる意見 (発言) をしない
	地域活動	つながり・協力 人の連携。誰かが手を挙げると必ず支援する人がいる 人のつながり イベント時の団結力・人が協力的 隣、近所のつきあいがよい 呼びかけに応じてくれる 仲間がいる 友だちがいる 相談相手が多く あいさつ 小中高生の挨拶 コミュニティが良い 津万地区の人間関係 コミュニティ (近所)	地域活動に消極的 まちづくりに無関心・町づくり、地域づくりに参加して欲しい 自治活動の担い手が少ない 消防団員・老人会に入りがたらない。会長のなり手が無い 町の役をする人がいない 役を受けたがらない ボランティアの参加者などが特定の人に限られすぎ 活き TUMA の活動にもっと多くの人が参加すべき まちづくり等に参加する人が片寄る 世話人とのギャップがある 行事に人の割当に困る。参加人数の確保 行事の時の若い人の参加
	マナー	友人知人が良い 友だちがいる 隣人が良い人	マナーの悪い人 犬のフンの始末がしてない人がいる 犬のふん ゴミステーションのマナーが悪い・マナーの悪い人がやってくる ゴミのポイ捨て (不法投棄)
	意見 考え方	元気 小学生が外で遊んでいる 底力がある 人 人が元気 まちづくりに熱心	昔からの人間関係 人間関係が閉鎖的 昔気質が強い お寺等の古い付き合い 昔のつきあいがあまりない 団結力が薄れてきている所 若さがなくなってきた
	人材		農業の後継者がいない 農業の次の世代がいない 農業の後継者がいない 田んぼのつくり手がいない 農業をする人が少ない
災害		災害が少ない 大災害がない	避難先が遠い 堤防が未整備
施設	学校	学校 西脇小学校、中学校が近い	学校 学校が遠い
	集客施設	集客施設 道の駅 道の駅の集客、道の駅が西脇市の中心	
	生活利便	便利 スーパーや医院があって生活するのに便利 施設が充実している・コンビニが近い 病院が近い 道の利便性 市役所が来る	店が少ない ショッピングセンターがない 大きな店がない
	憩いの場 集まる場	西脇公園 キレイな球場がある ヘソ公園の遊具 天神池プール 天神池 TUMA かいカフェがある TUMA カフェのモーニングが美味しい	子供の遊べる公園が少ない
	斎場	斎場 やすらぎ苑	
名所 観光	社寺	社寺 大津神社 八幡神社 西林寺 歴史的で風光明媚な西林寺	
	自然	あじさい 西林寺のあじさい園 西林寺のみみじ	
	スポーツ施設	スポーツ施設 都麻の郷グラウンド	
生活利便	買い物	買い物が便利 そこそこ便利なこと (買物)	店が少ない ショッピングセンターが1か所しかない 飲食店が少ない 飲み屋が少ない (特に北部)
	地域差	何でもあり便利 施設が増えてきた 何でもある便利な町 田舎とまち 津万地区は田舎とまちがある	地区の差がある 地区と郷がある 便利な所 (町) 不便な所 (町) の差がある 地域が分断 津万郷と上野・下戸田が一体になっていない
	井堰	津万井堰 水に困らない	津万井堰 津万井堰の downstream のなげき
	環境	環境が良い 町が静か 空気おいしい 全体がゆったりとしている お墓が近い 近くにお墓がありおまいりに行きやすい 広い 家の周りに家がないのがよい	公園 公園がしょぼい 暗い 夜に外灯が暗い 外灯が少ない 働く場 企業が少ない 空き家 空き家
	農地		市街化調整区域 市街化調整区域が多い 農地転用 家が建たない 家をたてる土地が少ない 獣害 いのしし、鹿、畑の被害
	将来		将来の不安 たいこ舟当がさびれてきた 老後が心配
	地域活動		地域活動が忙しい 区長さんがとても忙しい (津万地区だけではなく)
	公共交通		公共交通が不便 公共交通機関が整備されていない 公共の乗り物がない 交通手段の整備 交通が不便 交通の便がない
交通	道路など		歩者分離できてない 車道に自転車バイクの道幅がない 通学路に歩道が少ない バイパス バイパス整備が遅れている バイパスの橋脚がさびついている 道が狭い 国道が狭い
	交通マナー		交通マナー・事故 一方通行逆走 事故が多い
	利便性		買い物が不便 買物が不便 買物に自動車が必要 車が必要 車がないと暮らせない 移動するのに車が必要
	自然	自然豊か 自然が豊か 自然が多い所 緑が多い 自然が残っている 八日山 八日山登山道 山・川があり環境が良い 川がある 水資源 津万滝 天神池 朝鳥の声が目覚める	山が地域を分断 津万地区は八日山にて上野と下戸田と分断されているように思う 山 雑草 山の際の雑草が多い
風景 自然	田園風景	田園風景 田んぼが多い 田園風景がよい	田んぼ 田んぼが多い 田んぼの維持
	景色	景色が良い 風景、山、川、田 景色・山池等 田舎の風景 あじさい 八日山頂上から見る津万平野の眺め	
	環境	環境が良い 適度な田舎 日本の中心地であること 広場が多い 静か 夜が静か 空。朝も昼も夜も 夜空 空が青い 朝の風	

(2-1)第2回委員会で出た意見①「これまでの計画における現状と課題の整理」

平成19年に策定された地域づくり計画には当時の「現状と課題」が記載されています。計画の見直し作業のためには、この「現状と課題」を、現時点での「現状と課題」におきかえる必要があります。そこで、皆でこの「現状の課題」がどのように変化しているかについて、検証作業を行いました。その結果は下表の通りでした。

①支えあい、安心して暮らせるまちづくり

目標：ともに支えあい、笑顔で安心して暮らせるまちづくり

現状と課題	変化なし	改善している	より悪くなっている	解決した	備考
○西脇病院をはじめ医療・福祉施設は整っており、利便性に対する評価は高いものがあります。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 医者が増加し充実してきた ・ コモエスタにしわき ・ NPO法人すまいる カフェ「にこっと」の新設
○日常的な高齢者を支えるボランティア活動が進んでいますが、当事者同志の交流の機会が望まれます。また、子ども会や老人会などが…			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会、老人会、女性会がないところがある ・ 各団体が少なくなり、行事が少なくなる ・ 会のトップになるのを避けるため会がなくなる
○地域福祉計画の実践と併せて、この活動を充実させていくことが考えられます。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 八日山ハイキング・クリーン作戦 ・ スポーツ関係施設の充実。高齢者も気軽に参加できるもの

②生活基盤が充実したまちづくり

目標：安心して移動でき、魅力を向上させるまちづくり

現状と課題	変化なし	改善している	より悪くなっている	解決した	備考
○国道175号バイパスによる地区の分断、景観上の問題発生も懸念されます。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる通過道路になる。(土盛りから高架になったため) ・ 高架化されてより悪くなっている ・ 前回より変化なし。橋桁があるが話題にならず ・ 橋脚だけが残り、悪くなっている ・ 10年経っても完成しない原因は何なのか ・ 寺内の整備が(開発)進んだ箇所のみは交差点の問題は解決した
○危険な交差点もあり、安全性確保が望まれます。		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上野-下戸田-上戸田ゾーン 30 になったせいで交通量が増えた。危険度が増した。 ・ マックスバリュの交差点に信号ができ、改善した部分はある。 ・ 道幅は徐々に広がってきている。 ・ 10年前より悪化している危険な道路もたくさん
○地域の円滑な移動手段の確保が望まれます。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転出来ない人の増加。つくしバスは人が乗っていない。乗り合いタクシーなんかのもっと身近な交通手段が必要なのでは？ ・ いろんな方法はとられているが効果が低い。課題は多い。 ・ 移動手段については前進しています。ただ利用者が少ないです。便数が少ない。乗り合いタクシーなどの方法が考えられます
○175号バイパス計画地の周辺では、景観上課題のある作業所などの立地もみられます。				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業所が特定できない。 ・ バイパス未完成のため不明
○バイパス利用者に魅力を感じてもらえるような方策が望まれます。	○				

③活気あるまちづくり

目標：毎日が生き生きとした、元気のあるまちづくり

現状と課題	変化なし	改善している	より悪くなっている	解決した	備考
○商業施設が充実しており、商業利便性に対する住民の評価は高くなっています。		○	○		・道の駅に津万地区のマップが無い ・大型スーパーが撤退した（スーパー1社、酒屋1社撤退） ・周辺の店がうるおっている
○歴史的資源が多く、地域の歴史的な雰囲気高めものとなっています。	○				
○地区の歴史的資源や観光資源同士を結ぶ案内板などはないため通過客が多いことが考えられます。		○	○		・西林寺（あじさい園）の案内板、道の駅への案内板は増えた ・道の駅の集客が増えた
○城ヶ辻は他地区からの遊歩道整備の可能性があり、ルートを検討することも考えられます。					・城ヶ辻を知る者が少ない。
○スポーツクラブ21は高齢者が参加しやすい工夫や、介護防止などのための対策が望まれます。					

④自然環境の保全・活用を進めるまちづくり

目標：みんなで守って育てる、うるおいあるまちづくり

現状と課題	変化なし	改善している	より悪くなっている	解決した	備考
○八日山、寺山、加古川があります。小規模な水路が多く、水生生物も多く生息しています。			○		・水生生物は減少 ・川鵜が増えている。白鷺等大型も同様。 ・外来種が増えている。
○地区の水はおいしいことで知られています。	○				
○地区内にはネジバナなどの植物が自生しているほか、ガーデニングをしている住宅もあります	○				・あじさいも増えている（特に津万地区）
○上野の八日山から見える「逆さ富士」は、地区の個性をかもし出すものとなっています。		○			・八日山の登山道は活きTUMAで維持している
○加古川は利用されていないようです。台風の影響で堤防の傷みがはげしいところもあります。		○			・河道掘削が施工され整備が進んでいる
○大野公園西の山は、崖ぐずれの危険性があります。			○		・ゲリラ豪雨が増え危険性が増している
○西脇病院裏手の桜並木は保存されています。	○				
○ごみの分別回収が徹底されていません。		○			・ごみの分別が進んでいるが、大型ゴミが目立つ

以上のような検証を行った結果、平成19年時点での計画には、既に解決したものはほとんどないものの、改善しているものも多いことが分かりました。しかし、一方で変化のないものや状況が悪くなっているものも見られます。また、「現状の課題」についても新たに検討が必要ことが分かりました。

第2期の地区まちづくり計画を検討する際には、こうした検証結果を反映させ、できるだけ分かりやすく、地域の皆の納得のいくような現状認識・課題認識が必要であることが分かります。

(2-2)第2回委員会が出た意見②「これまでの計画の達成状況の確認」

そしてさらに、平成19年の「地域づくり計画」に書かれたことが、9年経った今、どれだけ実現できているか等についても検証を行いました。既に解決している地域課題についてはこれから策定する計画では扱う必要がありませんし、実現できていない計画について、今後も実現の見込みがなければ、計画として残すべきかどうかを検討する必要があります。

そこで、委員会では、これまでの計画の達成度合いや、今後も継続して取り組むかについて、検証の作業を行いました。その結果は下表の通りです。

①支えあい、安心して暮らせるまちづくり

目標：ともに支えあい、笑顔で安心して暮らせるまちづくり

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考	
	できた	まあまあできた	できていない	このまま続ける	やめる	より充実させる		
①多世代交流機会の充実	・多世代が交流できる機会を充実します。	+	+	○	+		○	
	・地域内の人の輪を広げる取り組みを推進します。	+	+	○	+		○	
	・児童などを対象とした、絵本の読み聞かせなどを進めます。	+	+	○	+		○	
②支えあい活動の推進	・ふれあいサロンなどの取り組みを充実します。	+	○	+	+		○	
	・日常的な声かけ運動を推進します。	+	○	+	+		○	
	・NPOなどと住民が関われる可能性を追求します。	+	+	○	+		○	「道の駅」のNPO法人と連携を強化
③健康づくり運動の推進	・運動講座などの機会を増やして、健康の維持・増進、介護予防につとめます。	+	○	+	+		○	
	・八日山、西脇公園ハイキングコースなどを検討します。	○	+	+	+		○	
	・介護保険モデル事業の率先的な活動の実施。	+	+	+	+			
④防災緊急対策の実施	・災害発生時の連絡網の確認と、防災リーダー研修。	+	○	+	+		○	
	・地域内の情報収集体制構築。	+	○	+	+		○	
	・高齢者や障害者の避難支援のあり方検討。	+	○	+	+		○	
	・AED(自動体外式除細動器)の取り組み充実。	+	○	+	+		○	

②生活基盤が充実したまちづくり

目標：安心して移動でき、魅力を向上させるまちづくり

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考	
	できた	まあまあ できた	できて いない	このまま 続ける	やめる	より充実 させる		
① 175号沿道のあり方	・側道などの安全性向上のため、歩道の十分な確保、横断のための安全な歩道などを要望。	+-----+-----○						そもそも道が完成していない。高架の計画に変更されている。
	・沿道の土地利用を景観に配慮するよう検討。景観上問題がありそうな場合は景観対策をお願い。	+-----+-----○						
② 道路の安全性向上	・地区内の危険な交差点の安全性確保の取り組み。	+-----○-----+						マックスバリュ-左右の交差点は信号がついた。上野大橋ラーメンの所の交差点は変化なし。
	・通学路となっている交差点の工夫を検討、実施。	+-----○-----+						
③ 交通マナーの向上	・生活道路ではスピードを出し過ぎないように配慮。	+-----+-----○						
	・見通しの悪い道路沿いは、植木や生垣がはみ出さないよう手入れ。	+-----+-----○						
	・路上駐車をしない。	+-----+-----○						
④ 土地のルールづくり	・新たな開発に際して、周りに迷惑が及ばないよう、対策をお願い。協定などの検討。	+-----+-----+						
⑤ 安全な移動手段の検討	・高齢者、障害者など移動手段確保のため検討。	+-----+-----+						

③活気あるまちづくり

目標：毎日が生き活きとした、元気のあるまちづくり

取り組みの方向性		達成度			今後は？			備考
		できた	まあまあ できた	できて いない	このまま 続ける	やめる	より充実 させる	
①歴史的資源などの活用	・歴史的資源を紹介する案内板の整備など、地域の歴史を学ぶ取り組みを推進。	+-----+○-----+					○	
	・使用していない施設の再利用について検討。	+-----+-----○			○	○		ライスセンター 建物はある プールはなくな った。跡地整備
②ウォーキングコースの検討	・地区の歴史的資源や加古川をめぐるウォーキングコース（またはサイクリングコース）の実現性検討。	+-----○-----+			○			ウォークラリー (1回)八日山ハ イキングを実施
③散策路づくり	・城ヶ辻をめぐる散策路、水路沿いの山道周辺の散策路づくりを検討、実施。	+-----+-----○						利用されていな い
④マップ・案内板づくり	・地区の自然、歴史を学ぶ散策マップ作成。案内板作成。	+-----+-----○					○	案内板はあるが
⑤スポーツクラブ21の取り組み充実	・スポーツクラブ21の取り組みを広げる。高齢者の健康維持や介護予防の観点からも検討実践。	+-----+-----○						活動内容をもっ と知る必要があ る。

④自然環境の保全・活用を進めるまちづくり

目標：みんなで守って育てる、うるおいあるまちづくり

取り組みの方向性		達成度			今後は？			備考
		できた	まあまあ できた	できて いない	このまま 続ける	やめる	より充実 させる	
①加古川に親しむ場づくり	・加古川河川敷に遊歩道やサイクリングロードなど可能性を検討。	+----- -----○				○		堤防を走行する方がより安全で快適
	・水生生物調査や、水辺をいかしたイベント実施。	----- -----○						過去「魚のつかみどり」等、水辺のイベントを活きTUMAが行ったが負担が大きく撤退した
②花いっぱい運動の展開	・公共的施設と連携して、花にあふれたまちづくりを推進。	+----- -----○-----+			○			あじさいを空地に植えている
	・西脇病院裏の桜の保存。	+----- -----○-----+			○			更に西林寺公園の桜も保存に向けて考慮する
	・175号バイパス沿道の街路樹植樹をお願い。	+-----○-----+				○		バイパス完成後は植樹が必要であるが、年に2回程度の管理しか行われない。また、視界を妨げるため止め！
③ごみの分別回収	・ごみの分別回収のため様々な場で啓発研修。	+----- -----○-----+			○			住民により認識していただくため市はきめ細かく指導願いたい
④水環境を守る個人の対応	・家庭排水を汚さないように配慮。	+-----○-----+			○			残りを早期に解消
	・貴重な水道水を無駄にしないよう、節水。	+-----○-----+			○			渇水期には節水する

(3)第3回委員会で出た意見「こんな津万地区をつくりたい(地域の課題の発見と評価)」のまとめ

委員会では、地域づくりの計画を進めるにあたり、改めて津万地区の課題を抽出する作業を行い、それらの課題の解決は個人でできることなのか、それとも地域の皆でやるべきことか、または行政の協力がないとできないことなのかを仕分けする作業を行いました。

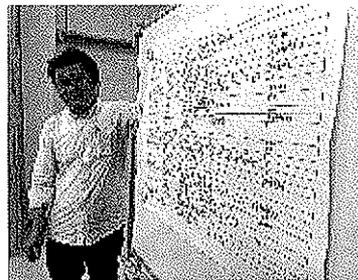
その作業の結果は以下の通りです。

個人ですべきこと	
<p>心・気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への愛着(誇り)向上 ・心を開放し多くの人とつながる ・ボランティアの精神を持つ人が少ない ・地域をもりあげていこうという気持ちの希薄さ 	<p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のリーダーがいない(老人会が解散) <p>行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の再生
地域の皆ですべきこと	
<p>地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町役員、地域役員参加意欲の高揚 ・地域活動への参加者の減少 ・町内活動に積極的な人を増やす ・行事イベントの減少 ・各種行事の参加者が少ない ・坂本町老人会の復活 <p>こどもを増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が少ない ・子ども数を増やす(子育て環境を整備) <p>介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人介護問題 ・親の介護 <p>休耕田の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地をへらす(なくす) <p>町道をきれいに</p> <p>免許の返上時期を考える</p> <p>近所つきあいを活発にする</p> <p>地域内交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町各団体の交流事業推進 ・色々な交流が気兼ねなくできるように ・組織にとられない町単位にとられない <p>行事・催し物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津万地区全体の行事がない ・地区で催し物をする ・行事に参加しない ・進んで地域の行事に参加していく ・子供が少なくなると行事ができない <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が楽しく会話出来るコミュニティ ・「向こう三軒両隣」が大切にされていない ・家族と一緒に住める地域(街)※一緒に同じ家ではない <p>高齢者・高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増えるので将来が不安 ・高齢者の1人暮らしの方の見回り ・高齢世帯の見守り ・老人多い、少子化 ・高齢者の買い物支援 	<p>人材の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が活動に参加する ・女性の役員が少ない ・ボランティアの方の高齢化 <p>不法投棄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミのない街(不法投棄) ・ゴミの不法投棄「環境美化」 <p>環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の環境改善 ・空き家空地の雑草 <p>市街化調整区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域が多い ・休耕している田畑の利用法 <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津神社の玉垣の修理 ・地域の財産「あじさい園」を維持する ・公園、球場等の施設の利用拡大 <p>市役所を活用したまちづくりが必要</p> <p>人権に関する活動に参加すること</p> <p>空き家問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の後継者がいない ・空き家の活用 <p>夜間の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外灯が少ない ・外灯がもっと増えるとよい(八幡神社の歩道等) ・安全にウォーキング出来る場所(夜など)ほしい。 <p>交通の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高校生の通学路の草が伸びている。危険。 ・高齢者の交通マナー <p>農業や農地に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田の管理 ・農業の後継者がいない <p>子育てに関するコミュニティの充実(周知)</p> <p>廃工場の跡地問題</p>

行政・企業が主体でやらないとできない	
商業施設 ・ショッピングセンター(大きな店)がない ・スーパー等ショッピングセンターがない地区(町)の解消 ・店が少なく人が集まらない ・何でも揃っている大きな店があればよい 仕事場、労働場 ・企業が少なく働く場が少ない・近くにない ・企業を誘致して若い人に帰ってきてほしい ・企業誘致。働く場所の確保・大至急 施設の充実 ・官公署を一定範囲に集約 ・老健施設の充実 ・避難所 ・大学	交通網の整備 ・175号バイパス・バイパス問題 ・交通の便が悪いもっとよくしてほしい ・公共交通機関がない・不便 ・バイパス整備・開通 安全な通学路 ・通学のための歩道をつくって ・通学路の外灯設置 市街化調整区域 ・調整区域の自由化 ・農地法?による調整区域解消 地場産業 ・織物関係の後継者がいない 空き家の増加 夜に外灯が少ない 人権意識の高揚
そもそも課題解決が不可能なこと	
若者の流出 社会全体の所得アップ	年金のアップ



優先順位を考える



アイデアに投票



真剣なまなざしでワークショップ!

また、上記で上げられた多くの課題のうち「皆ですべきこと」が津万地区のまちづくりの中心的な課題となると考え、「皆ですべきこと」の取組みを、重要性（緊急性）と、実現にかかる時間（労力）を評価し、マトリックス上に表現する作業を行いました。その作業の結果は下表の通りです

	すぐに取り組める			計画的に時間をかけて			実行できるまで待つ		
優先的に	小中高校生の通学路の草が伸びている。危険。	子育てに関するコミュニティの充実（周知）		市街化調整区域が多い	遊休農地をへらす（なくす）	休耕している田畑の利用法		休耕田の増加	農業の後継者がいない
	町道をきれいに	外灯がもっと増えよう（八幡神社の歩道等）	安全にウォーキング出来る場所（夜など）ほし	空き家問題	空き家後継者がいない		空き家の活用	子供が少なくなっている	
	各種行事の参加者が少ない	行事イベントの減少		地区で催し物をする	進んで地域の行事に参加していく	若い人が活動に参加する		子供の数	こどもを増やす
	高齢世帯の見守り	高齢者の買い物支援	高齢者の交通マナー	「向こう三軒両隣」が大切にされていない	色々な交流が出来るように	家族と一緒に住める地域（街）※一階は同じ家ではない		子ども数を増やす（子育て環境を整備）	
				老人多い、少子化	人数の減少	子供が少ない	高齢者が増えるので将来が不安	老人介護問題	親の介護
				廃工場の跡地問題	人権に関する活動に参加すること				
状況を見ながら	ゴミのない街（不法投棄）	地域全体の環境改善	休耕田の管理	地域活動への参加者の減少	町内活動に積極的な人を増やす	行事に参加しない	町役員、地域役員参加意欲の高揚		
	各町各団体の交流推進	地域住民が楽しく会話出来るコミュニティ	組織にとらわれない町単位にとらわれない	女性の役員が少ない					
	津万地区全体の行事がない	地域活動が弱くなっている	ボランティアの方の高齢化		空き家空地の雑草				
	高齢者の1人暮らしの見回り	通学路の外灯設置	公園、球場等の施設の活用拡大	市役所を活動の拠点に活用する必要がある	免許の返上時期を考える	スーパー等ショッピングセンターがない地区（町）の解消			
余力があれば	外灯が少ない	大津神社の玉垣の修理	地域の財産「あじさい園」を維持する	坂本町老人会の復活					
	近所つきあいを活発にする	※ゴミの不法投棄「環境美化」							

この作業により、地域の皆さんが課題と感じているものが明らかになり、それぞれの課題がどれだけ重要で、その課題の解決にどれくらいの時間と労力がかかるのかが明らかになりました。特に重要ですぐにでも取り組むべきものとしては、子供たちの安全や、高齢者のケア、地域活動への参加促進があげられました。

(5)第5回委員会「課題解決のためのアイデアを積み上げよう②」で行った作業

第5回の委員会では、第4回で行った作業を踏まえて、課題解決シートを用い、班ごとに解決したい地域課題を1つ取り上げ、それをどんな地域資源を使って解決していくことが可能かを検討しました。

利用した課題解決シートは以下のようなものでした。

課題解決アイデアシート

解決すべき課題				
使える資源	課題解決に活用できる地域資源	例) 自然・歴史・風景・気候・風土・施設・土地・人間関係・組織(自治会・老人会…)・企業などなど		
	課題解決に取り組める地域人材	誰か1人が 一生懸命やれば実現可能	数人が 一生懸命やれば実現可能	みんなで 取り組まないといけない
		具体的なには誰? :		
		その人は承知してくれる? :		
	課題解決に必要な資金	だいたい 円ぐらいあればなんとかなる		
		どう調達するか?		
		資金不要 (お金がなくてもできる)	多少必要 (地域でまかなえる)	かなり必要 (行政・企業の協力)
		具体的な調達方法		
	私にできること	これをやるとしたら、私の役割はこれです(皆さんそれぞれの役割を)		
		例) リーダーとして働きます 広報できます お金出します お金集めます ○○を提供します ○○の免許を持っています ○○が得意です		
10年後の津万地区の姿 [未来予想]	これを実現したら10年後津万地区はこうなっている			
プロジェクト名				

課題解決のアイデアをその実現方法を、資金の面や、労力の面から実現可能なものとするために考案された課題解決シートでしたが、このシートを埋めるのが大変難しかったため、全てを埋めることができた班はありませんでした。ただし、4つの地域課題について、それぞれ実現の方策を具体的に考えることはできました。

4つの班がそれぞれあげた課題解決のアイデアは下記の通りです。

1班

空き家・遊休農地問題の解決をしたい

方法：農地で人を呼ぶ。空き家も減る
れんげ、コスモス、芝桜も使える

課題：遊休農地がとびとびにある。時期をいつにするかも考えないと
幹の太いものを育てるとやめた後が大変になってしまう
→アジサイだと大変かもしれない

2班

人口減少をなんとかしたい（市街化調整も）

方法：空き家、遊休農地、高齢者見守り
シェアハウスをつくる（→でもあつまると空き家増になってしまうかも）

課題：ノックが怖いというお年寄りもいる
→皆が顔見知りになる必要あり

3班

1万人を呼ぶ資源を伸ばす

町内活動への参加、見守り

方法：あじさいを増やそう！！
入場料収入も増やす
田んぼにあじさいを植えるのは抵抗がある…
5～6カ所植えてるけどしんどい

課題：あじさい園の管理しんどい（まちづくりもあじさい園の運営団体の1つ）
あじさいの育苗→配布→世話をする人が足りない
（市街化調整区域の問題）

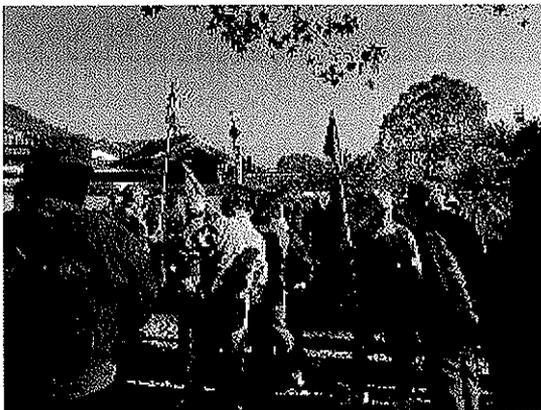
4班

交流を大切にしながら、ウォーキングで資源探しをする

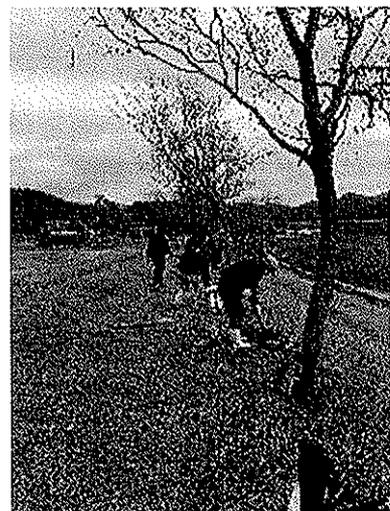
散策するといいいことあるかも

津万地区縦断ツアー

ラジオ体操メインで??



津万の里ウォークラリー



道の駅にあじさいの移植

(6)第6回委員会「課題解決のためのアイデアを絞り込もう」で行った作業

第6回の委員会では、これまで多くのアイデアが出されてきましたが、これらを総合して、いったいどんな津万地区を目指すのかを、計画のタイトル、あるいはキャッチコピーの形で表現することを通じて明らかにしようという作業を行いました。

各チームから出されたアイデアは下記の通りです。

将来像をあらわす一言

みんなが仲良し

- ・ 楽しい家族的な町／みんなが知り合い
- ・ 声かけあい年寄りが楽しく住める町／みんなが知り合い
- ・ 三世代が一緒に暮らせる町
- ・ 安心してくらせる
- ・ 大きな声であいさつが出来るまち
- ・ 地区イベント参加率 No. 1 津万は1つ！

住みよいまち・訪れて楽しいまち

- ・ 市役所、道の駅を中心に栄える津万地区
- ・ 住み良い町日本一を目指す（医療・介護・保育の充実）
- ・ 訪れたいくなる → 住みたいくなるまち
（道の駅、あじさい園）（やすらぎ苑、市民病院、市役所）
- ・ 四季の観光資源がある
- ・ 地震の無いまち

健康に暮らせる

- ・ 医療機関が充実している
- ・ 八日山・加古川・西林寺をコースに入れ、安心してウォーキングができるので健康になれる津万！！
- ・ 充実したスポーツ施設を活用して健康で楽しく安心して暮らせるまち
- ・ スポーツ施設が充実している

やりたいことがやれる

- ・ 今住んでいる人がやりたいことがやれるまち

田舎と都会のよいところが両方ある

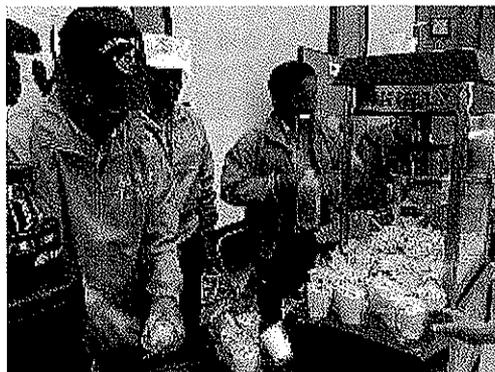
- ・ 都会すぎず、田舎すぎず安心して住みやすい町 自然は豊かである程度便利

子どもを育てやすい

- ・ 若い人がきても子どもの教育（子ども園）施設や遊ぶ場所がある町
- ・ 木造校舎と自然がはぐくむ子どもの心を求める人が集まる街



へその市に出店



県民交流広場大会に出店

(7) 第7回委員会「計画の素案検討」で行った作業

第7回の委員会では、これまでの議論をもとに、各班で地域づくり計画の素案づくりをしてみようというワークショップを行いました。各班から出た計画素案は以下の通りです。

1 班

目標：ずっと住みたい TUMA
発展させるぞ津万地域
住んでみたい津万地域

取組テーマ①：「生活が便利で心が豊かになるまちづくり」

- ・ 高齢者が車を運転できなくなっても困らないようにすることで、高齢者の交通事故をなくすように取り組む
- ・ 高齢者の介護や見守り活動を地域全体で考える
- ・ 買い物やサービス施設などへのアクセスがしやすいまちにする
- ・ 公共交通をもっと便利につかえるようにする
- ・ 地域美化につとめる

取組テーマ②：「地域住民が楽しく会話できるコミュニティあるまちづくり」

- ・ 地域活動に参加する人が増えるようにする。参加意欲を高める
- ・ 近所付き合いを活発にする
- ・ 地域の人交流できる行事、催しを行う
- ・ 地域に雇用を生み出し、若い人が働いて定住できる環境をつくる

取組テーマ③：「地域資源の活用を進めるまちづくり」

- ・ 空き家、空地、休耕田、遊休農地を地域資源として活用する
- ・ 後継者不足の問題などを解決し農業を再生する
- ・ 市街化調整区域の問題を解決する

2 班

目標：スマイル・スマイル TUMA の里
笑顔あふれる TUMA の里
心はずむ TUMA の里

取組テーマ①：「便利で暮らしやすいまちづくり」

- ・ 交通をもっと便利にする
- ・ 買い物やサービス施設などを充実させる
- ・ 防犯・防災面で安全に安心して暮らせるようにする
- ・ 地域の美化に取り組む
- ・ 雇用を創出し若い人が暮らしやすいようにする
- ・ 空き家、休耕田、廃工場などの使われなくなった施設を地域のために活用する

取組テーマ②：「みんながやさしくなれるまちづくり」

- ・ 人権に対する意識を高め、活動を活発にする
- ・ ご近所付き合いなど人と人とのつながりを活発にし、気軽に交流できる環境をつくる
- ・ 若い人や女性に地域活動、ボランティアを促す、役員として活躍してもらう

取組テーマ③：「地域愛にあふれたまちづくり」

- ・ 地域の人交流できる行事を増やす
- ・ 地域活動への参加者を増やす
- ・ 地域への愛着を育てる

取組テーマ④：「津万地区全体が家族のようなまちづくり」

- ・ 家族と一緒に住めるまちにする
- ・ 高齢者の介護・見守りに地域で取り組む
- ・ 高齢者の交通事故、免許返納などを考える
- ・ 子育てに協力し子どもの声がきこえるまちにする

3班

目標：“オール津万”みんなでつくるまちづくり

取組テーマ①：「みんなでハッピーに参加できるまちづくり」

- ・ 地域のみんなが気軽に交流できる機会を増やす
- ・ 地域活動への参加意欲を高め、役員やリーダーになる人材を育てる
- ・ 人権に対する意識を高め活動する
- ・ 地域を盛り上げる意欲を高める

取組テーマ②：「若者と子どもが住みやすいまちづくり」

- ・ 家族と一緒に暮らせる環境をつくる
- ・ 地域で安全に安心して暮らせる環境をつくる
- ・ 市街化調整区域の問題を解決する

取組テーマ③：「お年寄りが活躍できるまちづくり」

- ・ ご近所付き合いを活発にして日頃から見守りができるようにする
- ・ 地域で介護に着いて考える
- ・ お年寄りが運転しなくても生活できるようにする

取組テーマ④：「空き家と遊休農地を活用したまちづくり」

- ・ 空き家、空地、休耕田、遊休農地を地域資源として活用する
- ・ 後継者不足の問題などを解決し農業を再生する

4班

目標：生活するにやさしいまち TUMA

優しさつながる生き生き TUMA

まだまだらっきやで TUMA

人が生き生きまちが生き生き TUMA

だれもが住みたくなるまちづくり

取組テーマ①：「施設と交通の便が充実したもっともっと便利なまち」

- ・ 買い物やサービス施設などへのアクセスがしやすいまちにする
- ・ 公共交通をもっと便利につかえるようにする
- ・ 地域美化につとめる

取組テーマ②：「みんなの顔が見えるまち」

- ・ 地域のみんなが気軽に交流できる機会を増やす
- ・ 地域活動への参加意欲を高め、役員やリーダーになる人材を育てる
- ・ 人権に対する意識を高め活動する
- ・ 地域を盛り上げる意欲を高める

取組テーマ③：「子どもの笑い声が絶えないまち」

- ・ 子育てに協力し子どもの声がきこえるまちにする

取組テーマ④：「高齢者が生き生き暮らせるまち」

- ・ ご近所付き合いを活発にして日頃から見守りができるようにする
- ・ 地域で介護に着いて考える
- ・ お年寄りが運転しなくても生活できるようにする

取組テーマ⑤：「未来につながるまち」

- ・ 空き家、休耕田、廃工場などの使われなくなった施設を地域のために活用する
- ・ 地域に雇用を生み出し、若い人が働いて定住できる環境をつくる

取組テーマ⑥：「田舎の良さが溢れるまち」

- ・ 後継者不足の問題などを解決し農業を再生する
- ・ 市街化調整区域の問題を解決する

以上の作業を踏まえ、第7回委員会では出された計画素案をもとに、第2期まちづくり計画をまとめることとしました。

(8) 第8回委員会で話し合ったこと「地域自治協議会」について

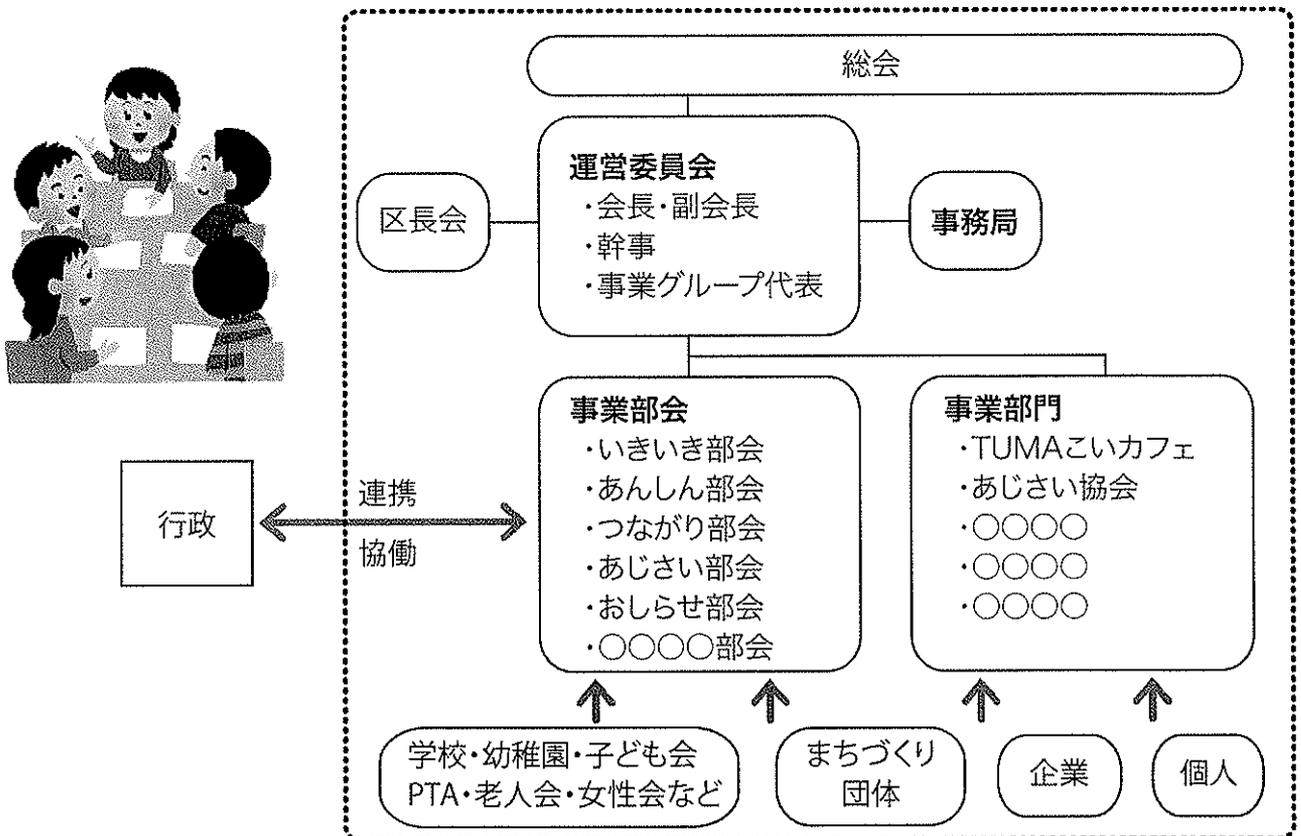
第8回の委員会では、西脇市役所およびアドバイザーから、西宮市ですすめている「地域自治協議会」の考え方について聞き、それについて話合いました。

この委員会で、地域の皆さんは、①人口減少社会において、各単位自治会も高齢化し自治会員も減っていく中で、自治会そのものの活力が弱まっていくことが懸念されていること。そして、②こうした社会情勢をかんがえみると、今後地域まちづくりを担っていく主体として、各単位自治会を統括する地域自治協議会というような組織づくりが必要になってくる可能性が高いこと。③津万地区でもこうした動きに対応していくべきではないか。ということ学びました。

委員会では、津万地区でも、地域自治協議会の設立を目指す方向で進めていくのがよいのではないかと話合いました。

その際、組織づくりについて、「生き生きTUMA協議会」が母体となって地域自治協議会を構成するのか、それとも「生き生きTUMA協議会」とは別の組織として地域自治協議会を設立するのかについては、今後の検討課題ということになりました。

■ 地域自治協議会イメージ図



☆これはあくまでもイメージ図です。

今後、様々な団体と協議し、地区の実情に最も即した組織の設立を目指します。

4. 第2期津万地区まちづくり計画

これまで述べてきた取組を経て、委員会では第2期津万地区まちづくり計画を下記のようにまとめました。まちづくり計画の内容は、ダイジェスト版も作成し、地域内の各ご家庭にも配布することとします。

活き生きTUMA未来予想会議 第2期津万地区まちづくり計画

～人が活き生き まちが活き生き 笑顔あふれるTUMAの里～
オール津万 みんなで創るまちづくり

活き生きTUMA未来予想会議では、平成28年度1年間をかけて、皆で地域の課題を洗い出し、その課題のうち「地域のみんで解決できるもの」を探し出し、課題解決の方法を考え、地区まちづくり計画としてまとめました。今後は、この計画をもとに津万地区をよりよいまちにしていくための具体的な活動計画をつくり、実際に取り組んでいきたいと考えています。

みんなが活き生きと暮らしていけば、まちもきっと活き生きとしてくるでしょう。そうなれば、津万は皆の笑顔あふれるステキな地域になるでしょう。まちづくりでは、地域に住む住民ひとり一人が主体的に関わることが重要です。津万地区の住民のできるだけ多くの皆さんにまちづくりに参加していただきたいという思いを込め、まちづくり計画のタイトルを「オール津万 みんなで創るまちづくり」としました。

1. みんなが仲良く、安心して暮らせるまちづくり

～地域全体が家族のように暮らせるまちに～

解決したい現状の課題

- ・地域から出ていく若者が多く、地域の元気がなくなりつつある
- ・高齢の皆さんが多くなり、地域活動への参加がしにくくなっている
- ・皆で集まる機会が減っていて、地域内の交流が減っている

津万地区にかぎらず、多くの地域で若者が流出し、地域の担い手が不足する事態が生じています。このことにより、自治活動や、地域まちづくり活動の活力が低下していることが課題となっています。

また、これと同時に、津万地区の多くの皆さんが懸念されていることは、昔のような地域づきあいが薄れてきており、地域内での交流や対話が不足していることでした。

こんな風なまちになるといい

「地域の皆が家族のように仲良く、声をかけあってくらせるまち」

現代においては、昔のように密な地域コミュニティを形成することは難しいかもしれませんが、津万地区にはまだ、互いを思いやり気づかいあい協力しあう文化が残っています。

こうした文化を大切にし、地域の皆さんが家族のように仲良く、互いを思いやり協力しあえるような人間関係を、もう一度取り戻すことが、津万地区では可能かも知れません。

<取り組み方針>

- ・安全に、安心して暮らせるまちにする
- ・家族と一緒に住めるまちにする
- ・雇用を創出し、若い人が暮らしやすいまちにする
- ・子育てに協力し、子供の声がきこえるまちにする
- ・人のつながりを活発にし、地域の皆が気軽に交流できるまちにする

- ・地域で介護について考える
- ・近所づきあいを活発にし、高齢者の介護・見守りに地域で取り組む

課題解決の取り組みは、一朝一夕に上手くいくものではないかも知れませんが、地域の皆が協力しあい、若者が津万地区に戻って来られるような環境を整えることを目指したいと考えます。

そのためには、気軽に声を掛け合えるような環境づくりが大切と考えます。そうした環境づくりに向けて、地域で取り組んでいきましょう。

2. 生活が便利で誰もが住みやすいまちづくり

～公共の施設や移動手段が充実した便利なまちに～

解決したい現状の課題

- ・年をとって運転免許を返納したら、移動手段に困ることになる
- ・医療福祉施設や商業施設は充実しており、移動手段を別にすればさほど困っていない
- ・ゴミの分別回収が徹底されておらず、近隣の迷惑になっている場合がある

津万地区で、お年寄りが免許を返納した場合、住む場所によっては日常の買い物や通院に困るような事態が生じる可能性が高いと考えられます。この問題は、公共交通の充実や、家族・知人の協力などによって補完される必要があります。

一方、津万地区には医療福祉施設や商業施設が充実していて、上記の移動手段の問題を除けば、特に大きな不便はないと考えられます。

こんな風なまちになるといい

「公共施設が充実していて移動手段に困らない、便利にくらせるまち」

他の地区同様に、津万地区でもこれからますます高齢化が進行していきます。多くのお年寄りが以上手段に困る可能性が高いため、津万地区が「年をとっても、買い物や通院などに困ることなく、便利に暮らせるまち」になるといいと考えます。

<取り組み方針>

- ・お年寄りが運転しなくても生活できるようにする
- ・移動手段の選択肢を増やし、便利に移動できるようにする
- ・車を運転できなくなっても困らないようにすることで、高齢者の交通事故をなくす
- ・買い物やサービス施設などをさらに充実させる
- ・地域美化につとめる・地域の美化に取り組む

公共交通を充実させることは、地域住民の活動だけでは難しいかも知れませんが、お年寄りに限らず、地域住民の皆さんの移動手段の選択肢を増やす取り組みをしていきたいと考えます。一方、移動しなくても買い物や医療サービスが受けられるような方法も検討するのもいいかも知れません。

3. 地域愛にあふれるまちづくり

～みんなが参加し協力し合う、元気のあるまちに～

解決したい現状の課題

- ・子供会や老人会などの活動が少なくなり、地域の元気がなくなっている
- ・高齢の皆さんが多くなり、地域活動への参加がしにくくなりつつある
- ・皆で集まる機会が減っていて、地域内の交流が減っている

地域の担い手が不足しつつあることとも関係しますが、地域内の各団体の活動の活力が減少しており、子供会や老人会などがなくなるところも出てきています。また、これに伴い、お年寄りが集まる機会が減っていて、地域活動への参加がしにくくなっていることも課題といえます。

人が集まる機会が減ると、地域内の交流も減ることになり、それは地域全体の活力の低下の原因になることも問題といえます。

こんな風なまちになるといい

「みんなが支え合い、みんなが元気にくらしているまち」

地域住民の皆が、もっと気軽に地域活動・まちづくりに参加でき、多くの人と交流することで、皆が元気に暮らしている。津万地区がふたたびそんな地域になるとよいと考えます。

<取り組み方針>

- ・地域への愛着を育てる
- ・地域活動に参加する人が増えるようにする。参加意欲を高める
- ・人権に対する意識を高め、活動を活発にする
- ・若い人や女性に地域活動、ボランティアを促し、役員として活躍してもらう
- ・地域活動への参加意欲を高め、役員やリーダーになる人材を育てる

津万地区を、地域活動・まちづくりに気軽に参加できるような地域にするためには、皆が津万地区に愛着をもち、機嫌よく暮らせる地域であることが重要です。

地域に愛着を持つためには、地域の魅力をより知ることが重要ですし、地域活動・まちづくりへの参加が「楽しいこと」であるような地域となる必要があります。

このような観点から、地域全体が心地よい人間関係で結ばれているような地域づくりを行い、地域で活躍することが楽しいような津万地区にしていきたいと考えます。

4 地域の資源を活かした魅力あるまちづくり

～地域の問題も魅力と捉え活用できるようなまちに～

解決したい現状の課題

- ・あじさい園はたくさんの観光客を集めており、この魅力をもっと活かしたい
- ・空き家や空き地・遊休農地が増加している
- ・大雨などの自然災害や、がけ崩れ等の心配のある地域がある

少子高齢・人口減少に伴い、津万地区でも空き家や遊休農地が増えてきており、地区景観や防犯・衛生の面からも問題となっています。

一方、西林寺・あじさい園は多くの観光客を集めており、交流資源には恵まれているといえます。こうした地域の特徴・資源をいかに活かしていくかも地域の課題といえます。

こんな風なまちになるといい

「地域の魅力をもっともっと発信していくまち」

地域の魅力を活かすためにも、地域の魅力の発信はとても重要です。あじさい園やTUM Aこいカフェの取り組みは、現時点でも観光客を集める地域資源です。こうした魅力を内外に発信することで、津万地域への多くの人たちの愛着を育てていければよいと考えます。

<取り組み方針>

- ・あじさい園を大切にし、活動を広げ、魅力を発信する工夫をする
- ・空き家、休耕田、廃工場などの使われなくなった施設を地域のために活用する
- ・後継者不足の問題などを解決し農業を再生する

- ・市街化調整区域の問題を解決する
- ・自然災害に備え、防災訓練など、地域防災の取り組みを充実する

あじさい園の活動を広げ、より魅力的な津万地区にしていくことを目指します。また、こうした交流資源を活かすことにより、空き地空き家問題などの地域課題の解決につなげることを目指します。

■先行イベント「春こいフェスティバル」2017.3.12



第2期まちづくり計画発表



春こい屋台村



ぜんざい振舞い



TUMAこいうどん試食会

第2期 まちづくり計画策定委員会 班編成

1 班			2 班		
1	徳岡 武義	下戸田	1	前田 博夫	上野
2	徳岡多加志	津万	2	岡澤 修	嶋
3	藤井 邦彦	西嶋	3	藤井 照通	蒲江
4	平木 清美	八日町	4	岸本 信子	寺内
5	村岡 和夫	大野	5	高岡 吉和	津万
6	臼井 茂樹	上戸田	6	藺田 由美	大野
7	高瀬 光彦	上野	7	西山多賀至	坂本
8	稲垣 洋子	大垣内	8	稲垣 忠弘	大垣内
9	中田 寿樹	寺内	9	竹中 信策	寺内
10	藤井 綾子	坂本	10	藤井 康精	上丘町
11	春藤いづみ	八日町	11	高岡 佳奈	上戸田
3 班			4 班		
1	山口 實	上丘町	1	高岡 利幸	上戸田
2	稲垣 研二	大垣内	2	笹倉 忠三	寺内
3	宮崎 博行	坂本	3	早崎 忠志	大野
4	笹倉智津子	寺内	4	川口美恵子	坂本
5	藤原 邦夫	西嶋	5	足立 秋男	大垣内
6	松尾 泰幸	嶋	6	柳田みどり	大野
7	吉田 旭伴	下戸田	7	戸田 剛史	下戸田
8	永井那央子	上野	8	藤原砂規代	西嶋
9	原田 一利	津万	9	原田 一記	津万
10	藤岡 朋也	蒲江	10	春藤 峰雄	蒲江
11	浦上 文和	大野	11	徳岡 康史	嶋

